

日本労働年鑑 第50集 1980年版
The Labour Year Book of Japan 1980

第二部 労働運動

XIV 政党

6 民社党

5 諸活動

(2) その他

国際活動

七八年七月以降の一年間に民社党が海外に派遣した代表団は、つぎの二つである。

(1) 七八年十一月三日～五日、カナダのバンクーバーで開かれた社会主義インター第一四回大会に、佐々木委員長を団長に、永末国際局長、相原正雄同盟国際局長ら六人の代表団が参加した。なお、この大会で曾禰益顧問が一四人の名誉議長の一に選ばれた(詳しくは『革新』七八年一二月号参照)。

(2) 一九七八年十一月二三日から同二九日、佐々木委員長を団長とする民社党第二次訪中団一行七人が北京を訪問し、鄧副総理と会談し、また張香山副会長ら中日友好協会の代表と二回の政治会談をおこなった(詳しくは『革新』七九年一月号参照)。

街頭行動

民社党が展開した国民運動について、第二四回大会における党務報告は、つぎのように記している。

「党勢拡大と相まって、全国的な国民運動—街頭行動—が積極的に行なわれた。主なるものをあげると、『不況克服・雇用拡大全国キャンペーン』を一ヵ月以上の日程で二度にわたって行った他、『樺太抑留韓国人帰国促進運動』『北方領土返還要求運動』『違法ストをやめさせる街頭集会』『米価闘争』『郵便業務正常化対策』などの国民的課題を解決する運動を全国的にくり広げた。これらの運動には全国に国会議員を派遣した他、週刊民社号外約四〇〇万部配布、本部宣伝カーの走行延一五〇日余に達した。」

日本労働年鑑 第50集 1980年版

発行 1979年11月10日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

2001年9月25日公開開始